

心を伝え合うシェリダン校の生徒との交流 厚真町の夢のある英語教育は次のステージへ

本町の英語教育推進にかかる共同研究者の北海道科学大学秋山敏晴教授の紹介で、平成25年に本町の中学生と、アメリカ合衆国オレゴン州のシェリダン日本語学校の生徒との年賀状、DVDを通しての交流が始まりました。昨年末にシェリダン校の生徒が北海道を訪問することを知り、英語教育推進委員会を中心に「シェリダン校の生徒との交流を通して得た異文化や外国への知識等を学びの動機づけとしたい。厚真の生徒とシェリダン校の生徒の直接交流を実現したい。」と検討を進めてきました。

この4月からは英語教育推進委員会中学校部会、中学校と教育委員会が連携して受け入れ準備を進めました。また、シェリダン校の生徒をホームステイの形で受け入れることや太鼓や吟舞など日本文化の披露については、中学生保護者の皆様のご厚意を得て、6月26日には温かくシェリダン校の生徒を迎えることができました。26日と27日の2日間の交流での本町の中学生の生き生きとした活動が印象的で、本町・シェリダン校の生徒にとって有意義な活動となりました。



ライオンズ文庫に心わくわく～中央小と上厚真小でお礼のセレモニー～

厚真ライオンズクラブ(佐藤秋夫会長)設立40周年にあたり、小学校児童の読書推進にと昨年度200万円が町へ寄付されました。それを受け、教育委員会と厚真中央小学校・上厚真小学校では本年度図書整備を進めてきました。

6月23日、両校に同クラブの佐藤秋夫会長、吉岡茂樹幹事が訪れ、児童によるお礼のセレモニーが行われました。佐藤会長から「本を読んで心豊かな立派な大人になってください」と言葉が送られると、厚真中央小学校図書委員長の田中葵さん(6年生)が「新しい本を前に気持ちがドキドキしています。たくさん本をいただきありがとうございます」とお礼のあいさつを述べていました。



今年も学校給食にホッキ貝の寄贈

今年も7月6日に鵜川漁業協同組合厚真ホッキ貝漁業部会から、学校給食センターにホッキ貝が寄贈され、伊勢副部長から兵頭教育長へ手渡されました。

いただいたホッキ貝はむき身にして42kg相当で、水産加工場で加工冷凍後、7月15日の学校給食にホッキカレーとして子どもたちに提供されました。



厚真町「子ども教育委員会」を開催します

教育委員会では、児童生徒の「学習・生活・運動習慣」向上運動の取組の一つとして、各小中学校の児童会及び生徒会の役員が一堂に集い、各学校で行われているいじめの未然防止や情報メディアの安全な利用などについて、日常の取組や成果・課題について意見交換を行う「子ども教育委員会」を開催します。町民や教育に関心のある方でしたら、どなたでも傍聴できますので、どうぞご来場ください。

日時 8月6日(木)10:00～12:00

会場 総合福祉センター 青年室

参加者 小学校児童会役員、中学校生徒会役員